

活動成果報告書

令和3年度（第25回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

難病に関する効果的な普及啓発の取り組み

グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名)

豊中市保健所 保健予防課

代表者：緑 典子

勤務先：豊中市保健所

所 属：保健予防課 難病支援係

所在地：〒561-0881

大阪府豊中市中桜塚4-11-1

TEL：06-6152-7346

FAX：06-6152-7328



◇活動方針

「難病法」に基づく基本方針では、国民が難病を正しく理解し、難病患者が地域社会において尊厳を持って生きることができる共生社会の実現をめざすとともに、国や地方公共団体が啓発活動に努めることが謳われている。豊中市では、市民の難病に関する理解促進をめざして、平成27年度から市民（難病患者当事者）を講師とした「市民向け講演会」を開催してきたが、難病患者の関係者の参加が多く一般市民の参加が少ないことが課題となっている。そこで、啓発方法を工夫することでより多くの人に難病について知ってもらい、難病の理解促進につなげる。

【これまでの取り組み】

年度	内容	参加者数	アンケート回収数 (うち関係者数)
H27年度	①市民のALS患者当事者による講演 ②難病患者で、作家である当事者の講演	77名	67名(57名)
H28年度	市民の後縦靭帯骨化症患者による講演 (市障害福祉課主催のイベントと共催)	180名	61名(35名)
H29年度	①兄弟デュオによる演奏 ②市民の筋ジストロフィー患者、家族による講演	82名	67名(57名)
H30年度	①難病を患う子を持つ母親集団による和太鼓演奏 ②市民のクローン病患者による講演	①77名 ②41名	28名(18名)

◇活動内容とその成果

(1) 「難病とともに生きるトークイベント」の開催（平成31年度）

【内容】潰瘍性大腸炎を患いながら活躍しているプロ野球選手（以下A選手；B球団所属）と保健所長のトーク、A選手と参加者の交流イベント

活動成果報告書

【開催時期】11月第4土曜日の午前の1時間半 【実施場所】市立体育館

【対象】豊中市民に限定せず、年齢制限なし（小学生以下は保護者同伴）

【周知方法】市広報誌、市ホームページ・Twitter、保健所Twitter、案内チラシ（市内小中学生全員へ配布、保健所・保健センター、市役所、図書館等）、B球団公式ホームページ・Twitter、メディアリリース（新聞掲載） 【受付方法】往復はがきで先着受付

【成果】イベントには440名の参加があった。平成29年度開催の市民向け講演会と比較すると、難病患者の関係者以外の参加が約半数を占めており、より多くの一般市民への難病の普及啓発につながった。イベント参加後の難病への理解が深まったかについて、「はい」と回答した者が356名（87%）であった（図2）。今後難病に関するイベントに参加したいかについては、「とても思う」「そう思う」と回答した者は371名（91%）であった（図3）。

《参加者の感想(アンケート結果より)》

- ・難病について勉強ができて（知ることができて）よかった。もっと深く知りたい。
- ・普段の様子から、見た目では難病とわからない人がいるとは知らなかった。

アンケート結果や参加者の感想から、難病の理解が深まったと回答した者が多く、本イベントに参加することで難病を理解することにつながったと考える。

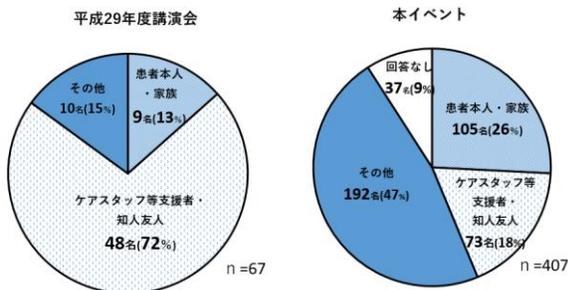


図1 平成29年度講演会と本イベント参加者の難病患者との関係について

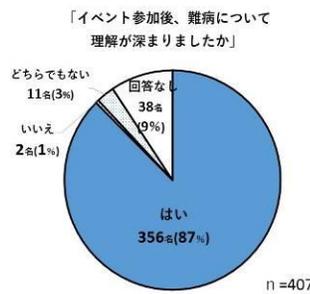


図2

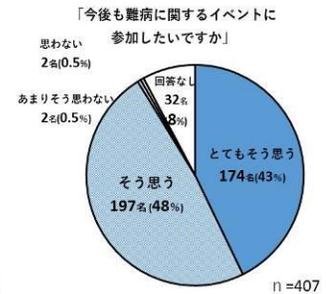


図3



(上)「難病とともに生きるトークイベント」案内チラシ
(右)イベントの様子



活動成果報告書

(2) 「難病のことみんなで考えよう」動画作成 (令和3年度)

新型コロナウイルス感染症の流行により集客型のイベント実施は困難であるため、難病啓発動画 (約 11 分) を作成して、難病の日 (5 月 23 日) に動画を配信開始。

【内容】 難病についての説明、B 球団の A 選手にインタビュー、難病患者当事者である市民のインタビュー (脊髄性筋萎縮症の患者とその親、全身性エリテマトーデス患者)

【動画配信先】 とよなかチャンネル (YouTube)、市ホームページ・Twitter・LINE、保健所 Twitter、市役所及び市内医療機関 (2 か所) の待合スペース、薬局配置のデジタルサイネージ等

* 動画配信について市広報誌に掲載、メディアリリース (新聞掲載)

【成果】

とよなかチャンネル (YouTube) での再生回数は約 2600 回 (令和 4 年 2 月末)。市役所及び市内医療機関の待合スペースで動画を配信することで、来所・来院された多くの市民に動画を見てもらうことができている。



難病啓発動画
「難病のことみんなで考えよう」
こちらからご覧ください ⇒



(左)豊中市保健所公式ツイッター(@toyonakame)
(下)豊中市公式 YouTube「とよなかチャンネル」より



◇今後の計画

これまで実施してきた市民向け講演会から手法を変え、イベントの実施や啓発動画の作成を行うことで、より多くの人が難病について知ってもらうことができている。著名人に協力を得たことで啓発効果はあった。

今後は、作成した難病啓発動画をさらに多くの人に知ってもらえるよう、動画の QR コードを掲載したクリアファイルを作成して配布することで、難病の啓発を継続していきたい。



難病啓発クリアファイル